

事業所名

F R E P

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

10日

法人（事業所）理念	児童、障がい、高齢の垣根を超え地域の為に貢献していき、一生を通じて利用して頂けるよう展開していきます。				
支援方針	個別・集団の取り組みの中で、個々に応じた支援を提供することで少しでもできることを増やし「生きる力」を伸ばしていきます。				
営業時間	9時	0分から	18	0分まで	送迎実施の有無 ○あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	毎日の通所を通して生活リズムの安定を図り、健康に過ごせるように支援していきます。 日常生活動作の習得を目指します。 （衣服の着替え、着脱、手洗い、排せつなど）			
	運動・感覚	運動遊びの中で体の使い方を学び、手足・体幹を鍛えられるように支援していきます。 決して無理をせず、ひとりひとりの感覚の特性を踏まえて支援します。 （手遊び、感触遊び、ダンス、鉄棒、サーキットトレーニングなど）			
	認知・行動	集団での活動や遊びを通して様々な環境から情報を修得し、行動につなげるとい認知機能の発達を促します。 認知・行動の手がかりとなるような概念を形成していけるよう、さまざまな体験・活動を大切にします。 （「見る・聞く・触る」等を意識した活動など）			
	言語 コミュニケーション	遊びや学習を通して他者との関わりを大切にし、自分の気持ちを伝えられるように支援していきます。 言語のみにこだわらず、動作などで伝える非言語的コミュニケーションも活用していきます。 （「楽しい」「もう一度やりたい」という気持ちを引き出せるような遊びや活動、絵カードやジェスチャーを用いた気持ちの表出方法など）			
	人間関係 社会性	他児や支援員との関係を意識し活動を共にすることで、身近な人との親密な関係を構築することを目的とします。その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成できるように促します。遊びや運動を通して集団参加を促すことで社会性を学べるようにしていきます。 （他児や支援員を意識できるような環境設定・簡単なルールのある遊びなど）			
家族支援	保護者が安心して子育てができるよう家庭での悩み相談、保護者の気持ちを受けとめ保護者の自己決定を尊重することで心理的支援を行います。	移行支援	移行先である保育所や学校などの関係機関との連携を密にすることで、移行先でも安心してサポートが受けられるようにしていきます。 （移行先との連携など）		
地域支援・地域連携	こども達が地域で適切な支援を受けられるよう関係機関と連携とすることで地域全体の子育て支援力を高めるためのネットワークを構築します。 （地域関係機関の情報提供・事業所連絡会など）	職員の質の向上	専門的な知識技能向上を目的とするため職員研修を年間計画に基づき実施しています。 （SST、障がい特性、医的ケア児についての外部研修に参加など）		
主な行事等	年中行事、収穫体験、自然を感じる遊び、避難訓練体験、おやつ作り、買い物学習、博物館見学、工場見学など。				